

SOZO

創造コース
Course guide

あなたにとっての **創造コース** とは？

 追手門学院高等学校



2026



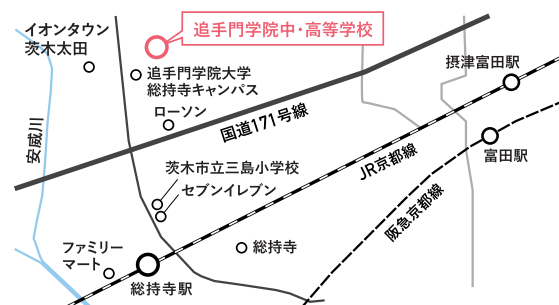
INFORMATION



SNSで随時、生徒の日常を発信しています。
是非、チェックしてみてください！



ACCESS



住所：〒567-0013 大阪府茨木市太田東芝町1-1

SCHEDULE

2025

創造コース
体験会・説明会
スケジュール

7/26_土 8/30_土 10/11_土 11/15_土 12/6_土

お申込みは
こちらから



高等学校

※ お時間や内容などの詳細については、ホームページでご確認ください。

TEL: 072-697-8185 (代) FAX: 072-697-8220 <https://www.otemon-jh.ed.jp>



 追手門学院高等学校

あなただけの、 “あなたの世界”を。

あなたの感性、あなたの価値観、あなたの個性…

あなたの世界を形づくる全てのものが、

唯一無二であり、かけがえのないもの。

与えられた知識や情報は一つのピースに過ぎず、

あなたの世界で、それをどのように繋ぎ合わせ、

新しいものを創造していくのか—

そう、ここでは、あなたの世界が中心であり、

全ての創造の起点になります。

そして、ここにはそんな自分だけの世界を持った

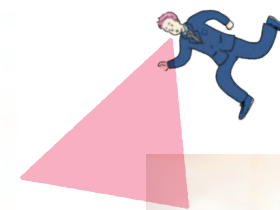
たくさんの仲間が集まってきます。

あなたの世界と、また全く違った世界が合わさる時、

それまでイメージしていたものとは全く違った世界が見えてくるはず。

さあ、好奇心を持って…

“あなたの世界”を持ちよりませんか？





数あるコースの中で創造コースを選んだのは、「ここに入ったら唯一無二の人になれるかもしれない」と感じたからです。

創造コースの体験会に行き、1期生の先輩たちが前に出て話す姿を見たときに、すごく印象に残ったんです。誰1人緊張していないように見えたし、まるでカウンセリングをするような形で僕たち参加者一人ひとりと目を合わせてしっかりコミュニケーションを取る先輩たちこそ、唯一無二の存在に見えました。僕もこんな風になれるなら入ってみたいと思って、創造コースを選びました。



こんたに しんのすけ
紺谷 真ノ介 さん
創造コース 3年生

Q. 創造コースを進学先に決めた理由はなんですか？

先生との距離が近いことが創造コースの特長です。創造コースの先生は、いい意味で干渉しすぎないところがあって、まるでガードレールのように、外してはいけないところやある程度の道筋を示して、あとは自由にやらせてくれます。プロジェクトやプレゼンは特に自由度が高いので、本当に必要な時にサポートしてくれます。プレゼンの仕方、この方が伝わりやすいんじゃないとか、先生も一緒になってみんなでけっこう議論するんですよ。評価基準はありますが、それだけに囚われていない感じもします。



こうの たかまろ
河野 恭磨 さん
創造コース 3年生

Q. 先生との距離感はどうな雰囲気ですか？

Q. 別の言葉で表現するなら創造コースはどんなコースですか？

普通の授業って、理科だったら生物、数学だったら方程式を学ぶなど、体系化された知識を学ぶと思うんですが、探究の授業はそれがなく毎回内容が変わります。音楽を作ること Alternatively, 写真を撮ってきてみんなで鑑賞して思ったことを共有し合うこともあります。

内容も毎回おもしろいんですが、「なんで先生はこのテーマを持ってきたんだろう？」とか、裏事情みたいなものを考えながら取り組むのがまたおもしろくて。先生の意図を考えていると、知識とは全く別のところが見えてくるんです。終わったときには自分のことを深く知ることができた満足感があり、探究の授業が一番好きですね。



ふじもり
藤森 ひより さん
創造コース 3年生



とにかく考えるコースだと思っています。創造コースで考えることは、答えがない問いばかりなので、自分なりに納得できる結論が見つかるまで、ひたすら考え続ける感じなんです。

思考したことを人に話して、新たな視点を得て、また思考して、の繰り返し。答えがない問いに向き合うワクワク感も、辛さも、両方を味わえるコースなんじゃないかなと思います。



さいとう あおい
齋藤 碧 さん
創造コース 3年生

Q. 探究のおもしろさを感じていますか？
どんなところに





この環境をどう生かすかは自分次第。 そう実感できた3年間

創造コースでの出会いや経験がなかったら、今の自分はきっと
いません。

高2の探究旅行でプレゼンしたアイデアが、4人の仲間との協働によ
って、楽しく自己理解を深められる教育教材「語れるすごろく」の
開発につながりました。そこから「わたがし」という名でプロジェクト
が立ち上がり、現在も仲間とともに、自己理解学習を教育現場に届
ける活動を続けています。

この活動を今後も広げるため、高校3年の春に個人事業として起業
し、現在は一般社団法人化に向けて準備を進めています。大学生
活と起業活動が並行する日々は、毎日が学びの宝庫。こうした現在
の自分の立ち位置は、創造コースで出会った人や思いがけないチャ
ンスに、一つひとつ自分から飛び込んできた結果です。

創造コースは、社会とつながる機会がとて多く、実際に活躍する
大人と話す中で「こうなりたい」という将来像が少しずつ見えてきま
した。でも、どれだけチャンスがあっても、自分から動かなければ何
も始まらない環境でもあります。最初から「意味があるかどうか」を
判断せず、「とりあえずやってみる」「まず楽しんでみる」。そんなスタ
ンスで飛び込めば、創造コースはきっと最高にもっと楽しい場所にな
ると思います。

現在は、えいけい広島県の公立大学・観啓大学ソーシャルシステムデザイン
学部で学んでいます。授業は英語が中心で、多文化環境の中、グ
ループワーク主体の学びが展開されています。そこでも求められて
いるのは、創造コースで身につけた「自分で考え、動く力」。パソコン
スキルや言語化力も含めて、大学生活で自分の「強み」になってい
るものは、すべて創造コースで育んだものです。

この環境をどう生かすかは自分次第。そう実感できた3年間でした。



ふるかわ もとはる
古川 元晴 さん
観啓大学
ソーシャルシステムデザイン学部

創造コースの3年間で一番大きかった気づきは、「友達」と
「仲間」は違うということ。全員と仲良くなる必要はなくても、
プロジェクトや探究の場では、お互いを尊重しながら一つの
目標に向かって協力し合える。その関係性はすごく大事なこ
とだなんて、卒業して改めて感じています。

もう一つ心に残っているのは、「とりあえずやってみる」こと
の大切さ。考えすぎて動けなくなっていたとき、「まずは手を
動かしてみたら?」という先生の一言が、私に「完璧じゃなく
ても動いてみる」という姿勢をインストールしてくれました。

創造コースは、自分の「好き」を素直に言える場所であり、誰
かの「好き」も否定されない場所です。迷っていた進路が、先
生の何気ないひと言で海外に向かって開けていったのも、こ
の場所にいたからこそだと思います。

自分の世界を広げるきっかけは、案外、「誰かの何気ないひ
と言」だったりする。斜に構えず、オープンな姿勢で、まずは
楽しんでみてください。



未知を探究する楽しさが 今に生きている



たけたづ よしふみ
竹田津 圭史 さん
立命館大学 スポーツ健康科学部

創造コースで力がついたと感じるのは、自分の内側にある考
えや感情を、自然に言葉にして表現できるようになったことで
す。日々の振り返りを積み重ねる中で、少しずつ言葉にする力
が育っていったのだと思います。

もう一つは、他者と対話しながら学びを深めていく力です。創
造コースでは、問いを立てたり、多様な視点を持ち寄って話し
合う環境が当たり前になりました。大学でのグループディス
カッションでも、その力が自分の土台になっていることを実感
しています。

最近、スペイン語の勉強を始めたのですが、全く知らない世界
に触れることがすごく新鮮で、楽しく続けています。創造コー
スで未知のことを探究するおもしろさを体験していたからこ
そ、今も自然とそういう学び方ができているのだと思います。

これから入学する方には「失敗を恐れずにチャレンジしてほし
い」と伝えたいです。誰かが何かをしてくれるのを待つよりも、
自分から動くことで得られるものはすごく多い。だからこそ、
自ら積極的に動くことを意識してほしいです。



創造コースなら、
一緒に何かに向かって頑張れる
仲間になれる



しもまえ みちか
下前 美智佳 さん
セギ大学 マルチメディアデザイン学科
(マレーシア / 2025年9月 進学予定)



CAREER SUPPORT

キャリアサポートの考え方

面談（メンタリング）について

対話の中で生徒が話す時間をより多く取っています。

教員側の考えを押し付けてしまわないように、言葉の裏にある個々人の考えや思いを探り、生徒が抱く理想の姿を実現するために必要なことを共に考えていく、そんな時間です。

佐藤 佑平

独自の進路ガイダンス

創造コースでは学年全体で行われる進路ガイダンスと並行して独自の進路ガイダンスを行っています。自己を探究し続ける彼らだからこそ、偏見を持たずに、新しいチャレンジをしている大学や、就職や海外大学のような人と違った選択肢も楽しんでくれると信じていることができます。

高木 草太

外部プログラムについて

通学型、オンライン定期講座型、短期集中型や渡航型など、外部プログラムの形態や内容は多様化しています。創造コースでは、生徒自身の興味関心をベースに自分で情報を掴み取って積極的に外部プログラムに参加し、越境する学びと複数の所属意識からくるレジリエンスの醸成を助めています。だからこそ、お勤めのプログラムや、心理的ハードルやチャレンジ度合いなどにグラデーションを持たせた様々なプログラムをこちらからも情報提供しています。

高木 草太

大切にしていること

「自分とはどんな人なのか」「将来どのようにになりたいのか」といった自己理解を深めるきっかけを提供することを大切にしています。

進路については、大学進学をゴールと捉えるのではなく、どのような環境で、どんな仲間と学びとりたいのかを意識できるように促しています。

松下 恭平

Teacher's VOICE

先生の声



高木 草太

「創造ってなに？」

他の生徒や教員だけでなく、実はコースの保護者や、創造コースの生徒からも聞くことがある質問です。これに対する具体的な言葉としての回答は実は持たないようにしているのかもしれませんが、ただ、創造コースと関わることは教員としても一人の人間としても、とても魅力的な時間で、そこには理想の教育の場が実現しているように感じます。

創造コースに所属していると、教員としても毎日がチャレンジと失敗に溢れていて、新しい自分に気づき生徒たちと一緒に成長させてもらえる機会がたくさんあります。その積み重なった3年分の体験が、やがて卒業する頃には彼らの創造コースの定義になっていると私は信じています。だからこそ、そんな彼らから出てくる言葉を私はとても楽しみにしています。

「創造ってなんだろう？」を考え続け、今ももしかしたら追及している結果、どんな魅力を発見し、どんな価値を見出したのか。回答が無限にあることがこのコースの持つ可能性の大きさを示していると思います。

2024年度の進学実績

Taylor's University American Degree Transfer Program (ADTP) / Asia Pacific University Bachelor of Arts in Tourism Management / 近畿大学 建築学部 / 立命館大学 映像学部 / 京都芸術大学 キャラクターデザインコース / 高知大学 地域協働学部 / 鳥取大学 地域学部 / 甲南大学 マネジメント創造学部 / 四国学院大学 社会学部 / SEGI University Bachelor in MultiMedia Design / 大正大学 表現学部 / 帝塚山学院大学 総合心理学部 / 龍谷大学 経営学部 / 叡啓大学 ソーシャルシステムデザイン学部 / 神戸芸術工科大学 芸術工学部 / 関西大学 ビジネスデータサイエンス学部 / 関西大学 社会学部 / 京都外国語大学 国際貢献学部 / 近畿大学 経営学部 / 大阪工業大学 工学部 / 追手門学院大学 経営学部 / 東洋大学 生命科学部 / 桜美林大学 教育探究科学群 / 立命館大学 スポーツ健康科学部 / 大阪工業大学 工学部 / 関西学院大学 建築学部 / 京都美術工芸大学 建築学部 / 関西学院大学 理学部 / Monash University Bachelor of pharmacy / 四天王寺大学

Student's VOICE

生徒の声



許 綾音

創造コースの3年間で得た力は“真を見据える力”です。

この問いはこういう意図なんだろうな、とか、いざこざはここでこじれているから起こってしまっているんだな、といった具合です。

これは創造コースで数々のグループワークを重ねる中でお互いが気づきを得られる“対話”をたくさん行った結果だと感じています。そしてこの力は進路選択にも役立ちました。私は元々医学を志していましたが、とある先生が勧めてくれた海外研修がきっかけで医療よりも教育に興味があることに気づきました。

つまり私自身の“真にしたいこと”を導けたのです。

そんなきっかけをくれた先生には感謝しています。

先生は進路選択の際、どの大学に行くかではなく、この先どのように生きるのかを軸に、常に進路指導をしてくれました。

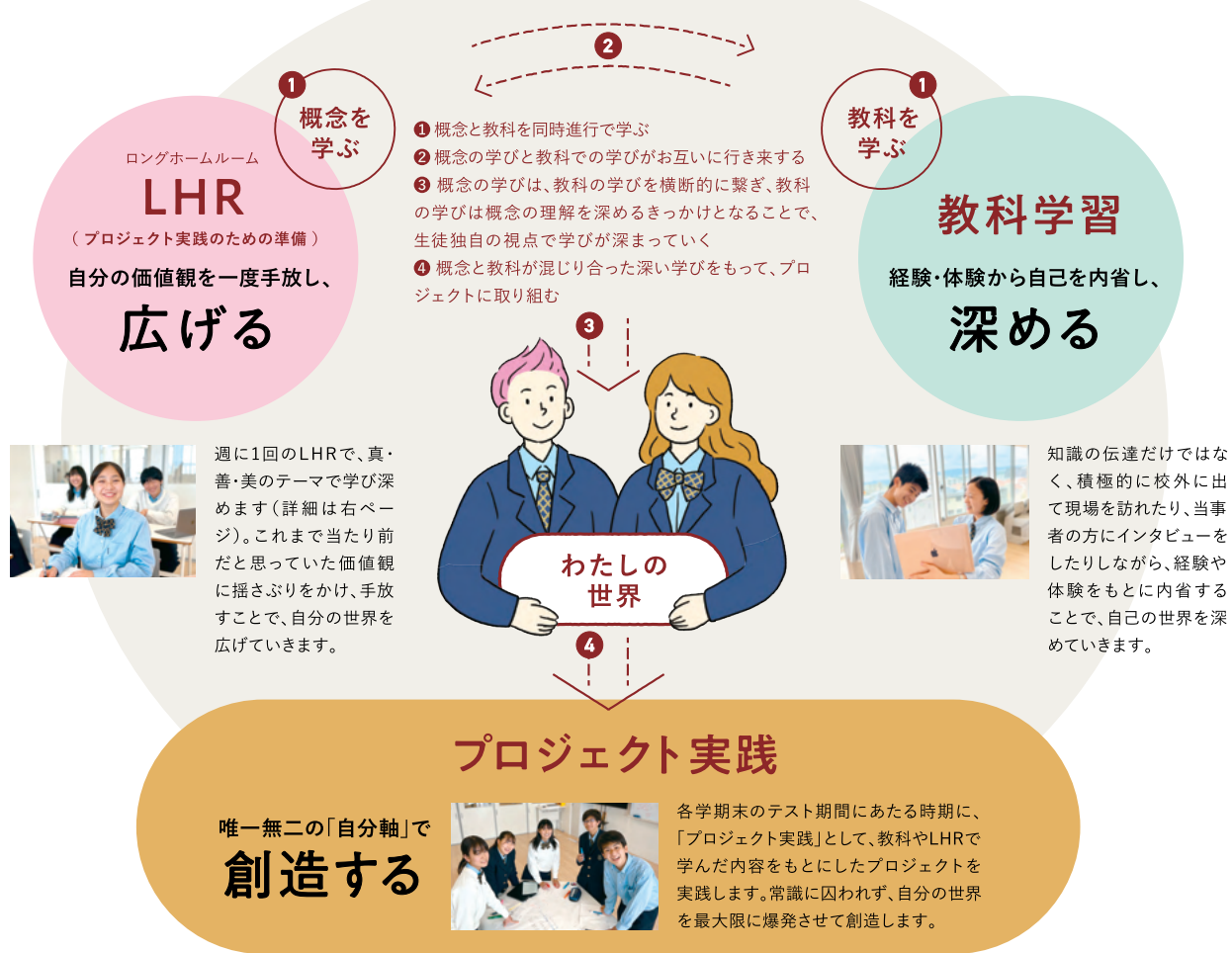
勧められたアフリカでの海外研修もその延長だったと思います。

真剣に話を聞きながら寄り添ってくれる反面、本当にしたいことはなにか生徒自身が気づけるように厳しく社会に送り出す強さをもった先生方です。

そんな先生達と、成長のきっかけをくれた仲間がいる創造コースで私自身の未来を考えられて良かったなと感じています。

生徒それぞれがもつ世界を 広げ、深め、創造につなげる独自の仕組み

創造コースで何よりも大切にしているのは、生徒がもつ独自の世界です。その世界が起点となり、その生徒にしか生み出せないものを創造できるように、「LHR」「教科学習」「プロジェクト実践」の3つを組み合わせた独自のカリキュラムを設計しています。



唯一無二の「自分軸」を見つけ、 ゼロから創造するための学びとは？

創造コースでは、自分の当たり前を手放し、判断基準を見つめ直して、新たな「自分軸」を見つけるための概念を学びます。1年間を通じ、学びの環境や下地づくりを丁寧に行い、毎学期末にそれまでの学びを活かしたプロジェクトに取り組みます。最終的には唯一無二の「自分軸」を見つけ、仲間とともにゼロから創造していける状態を目指します。

1 年次

真



クリティカルな思考で 自分の中の「当たり前」を手放す

社会の正解や常識から離れ、自分は何を知っていて、何が本当に正しいのか、という本質的な問いに立ち返ることで、自分の中の「当たり前」を手放し、常にクリティカルな視点で思考できる状態を目指します。

週1回のLHR

+

プロジェクト実践 ① (5月中旬)

+

プロジェクト実践 ② (6月下旬)

2 年次

善



他者や社会を知る中で 自分の判断基準を見つめ直す

社会の様々な事象に触れ、その背景を深く知ることで、社会の判断基準や善悪を理解します。その上で自己に立ち返り、自分はどのような基準や観点で動いているのか、自分自身の判断基準を見つめ直します。

週1回のLHR

+

プロジェクト実践 ③ (10月中旬)

+

プロジェクト実践 ④ (11月下旬)

3 年次

美



唯一無二の「自分軸」を持ち ゼロから創造する

ここまで学んできたことを全て手放し、フラットな視点で自分の中に残っている判断基準を見つめ直します。それが唯一無二の「自分軸」であり、それをもって1年の集大成としてゼロから創造することに挑戦します。

週1回のLHR

+

プロジェクト実践 ⑤ (2月下旬)

生徒の世界を 大切にする 創造コースの 4つの考え方

1 生徒の中から湧き上がる 感性や情熱を大切に

本当は全ての生徒が、唯一無二のかけがえのない世界を持っています。自分の奥底にあるその根源的な感性や情熱に気づき、それを最大限に爆発させるように、学校生活のあらゆるタイミングで気づきや発見が生まれるような環境やきっかけをつくっていきます。

2 他者や社会と繋がり 多様な価値観に触れる

そもそも、他者や社会と触れ合う機会が少なく、深く知らない生徒は多いです。まずは積極的に繋がり、向き合い、徹底的に考えをぶつけ合う。その過程で他者の多様な価値観に触れ、悩み、理解していきます。創造コースでは積極的にそういった機会を設けていきます。

3 自他の違いを知り、 その違いを活かし合う

自分と他人、自分と社会の考え方、価値観に触れ、その違いに気づくことは大事ですが、創造コースでは違いのままで終わらせることはしません。違いを生む背景を理解し、価値として認めた上で、自分の価値観と合わせて新しい価値を生む。そのスタンスを大事にしています。

インプット+アウトプットで 学びを拡張し、繋いでいく

学びはインプットしただけでは深まることも定着することはありません。必ずアウトプットすることで、学んだ知識が活かされ、深まり、そこに気づきや内省が生まれ、体と頭に定着するのです。創造コースのカリキュラムでは、全ての学びにインプット+アウトプットを意識しています。

目指す成長のかたち

唯一無二の「自分軸」で ゼロから創造できる自分に

社会に出たらこれまで出会ったことのない様々な壁に直面します。その時に、目の前の問題の本質を見抜き、自分の判断軸で自信を持って意思決定をして、たくさんの仲間と協力しながらゼロから創造することで、壁を乗り越えていける自分を目指します。

想定される進路

総合型選抜
学校推薦型選抜

グループワークやプレゼンテーション、面接試験が多いため、創造コースとの親和性が高く、進学先の中でも注目される選択肢の一つです。

海外進学

ハワイ大学KCCとの教育連携、テイラーズ大学(マレーシア)指定校、海外大学進学協定校推薦制度(近畿日本ツーリスト協力)などと連携、協力しながら、進学をサポートします。やりたいことが海外にある場合は、指定校に限らずサポートします。

一般入試

一般大学の進学にも対応したカリキュラム設計になっています。

専門職の道へ

専門職の養成を行う学校や機関への進学も選択肢の一つです。